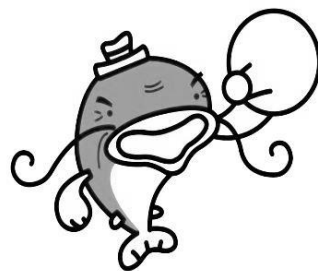


自主・自立 共働・共助

公益社団法人 彦根市シルバー人材センター



事務局たより

No.184
(2019年7月号)

◎就業相談

日時：7月19日（金） 13時30分から16時まで

会場：中老人福祉センター（シルバー前）小集会室（1階）

※就業のご相談をお受けします。

毎月第三金曜日に開設していますのでご利用ください。

◎未就業相談

毎週水曜日実施（場所＝シルバー人材センター紹介相談室）

※就業をしていない会員の方のご相談をお受けします。

事前に事務局までお申し込みください。

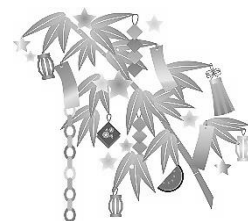
◎入会説明会

日時：7月11日（木）・7月25日（木） 13時30分から

会場：シルバー人材センター紹介相談室

毎月第二、第四木曜日に同じ内容で開催しています。

会員でないお知り合いの方にお声かけください。



◎配分金・賃金 振込予定日

| | |
|-------------|----------|
| 配分金 (請負) | 7月22日（月） |
| | 8月20日（火） |
| | 9月24日（火） |

| | |
|------------|----------|
| 賃金 (派遣) | 7月12日（金） |
| | 8月15日（木） |
| | 9月13日（金） |

〒522-0056 彦根市開出今町 1419

TEL.0749-22-5622 E-mail: hikone@sjc.ne.jp

FAX0749-26-4800 URL: <https://webc.sjc.ne.jp/hikone/>

正会員数 1,040 人
男性 686 人 女性 354 人
(6月24日現在)

就業会員募集

| 業務内容・就業先 | 募集人員 就業期間 | 就業時間 | 応募締切 | その他 |
|---|-------------------------------------|---|-------------------------------|--------|
| [派遣] 放課後児童クラブのサポート業務 市内小学校 (城南・金城・河瀬) | 若干人 決定次第 就業 | 通常 14:30~18:00 長期休暇中 8:00~18:00 (うち4~5時間) | 随時募集 | 担当 廣田 |
| [派遣] デリカ・惣菜加工 ビバシティ平和堂 | 若干人 | 8:00~12:00 シフトによる就業 | 随時募集 | 担当 真山 |
| [派遣] 鮮魚・盛り付け・品出し フレンドマート大藪店 (長曽根南町) | 1人 | 8:00~12:00 | 決定次第 | 担当 真山 |
| [請負] 駐輪場の管理 彦根駅前自転車駐車場 (蔦井株) | 1人 令和元年 9月から | 6:00~22:00 (うち3.5~6時間) 月11~12日程度 シフトによる就業 | 7/10(水) 7月下旬 面談※ | 担当 北川ひ |
| [請負] 廃プラの選別作業 彦根市清掃センター (喜多嘉和株) | 2人程度 | 9:00~16:00 (うち6時間) 月8日程度 シフトによる就業 | 随時募集 | 担当 北川ひ |
| [請負] ポスティング業務 「こんきくらぶ」「広報ひこね」などの各戸配布 | 配布地域は、ご希望に沿うことができない場合があります。ご了承ください。 | | 随時募集 | 担当 青山 |

※「面談」と記載されている業務は、適正就業推進委員による面談を行います。面談の日は事務局から指定します。

就業を希望する会員の方は、事務局へお申し込みください。

電話：22-5622 FAX：26-4800

シルバー人材センターの小さな教室

第1弾

手芸教室[布持ち手のカゴバッグ]

日時 8月9日(金)、13:00~16:30
場所 中地区公民館
参加費 2,000円以内(実費)
申込締切 7月31日(水)、事務局(北沢まで)



会員の方をはじめ、市民の方の参加もお待ちしております。

「交通死亡事故多発警報」が発令されました

県下では、6月13日に3名の方が亡くなる交通死亡事故が発生し、本年に入りすでに34名の方が交通事故で亡くなるという非常に厳しい状況となっています。

このため、滋賀県交通対策協議会では、交通死亡事故の多発に歯止めをかけるため「交通死亡事故多発警報」が発令されました。

6月14日（金）から6月20日（木）までの7日間（発令日6月14日）



現在、滋賀県は交通死亡事故の増加数全国ワースト1位です・・・

交通事故は人災です。交通事故で死傷する方を1人でも減らすため、ドライバーは安全運転に努めましょう！！

『交通死亡事故ストップ作戦』実施中！

ドライバーのみなさんは危険を感じたらまずブレーキをかけましょう！ 



対策

- ・子どもや歩行者を見かけたら速度を落とす。
- ・夕暮れ時間帯は早めに「前照灯」を点灯する。
- ・夜間は「ハイビーム」を有効に活用する。
- ・脇見や考え事をせず、運転に集中する。
- ・体調が悪い時は、運転を控える。

交差点では安全確認が最も重要！

交差点には多くの危険が潜んでいます。その危険な状況を一つ一つ把握して判断するためにも、交差点手前で安全な速度に減速することが大切です！
自動車がドライバーの不注意で凶器になってしまうことを忘れないでください。

息子や警察官をかたるオレオレ詐欺の電話に注意！

「会社に株式の不正取引がバレてしまいこのままではクビになる。お金が必要になった。」
「逮捕した犯人グループが所持していた名簿にあなたの情報が載っている。確認のためキャッシュカードをとり自宅に向う。」



このような電話を受けたら、あわてることなく「家族」や「警察」へ相談してください！

施設の窓口に掲示するなど、必要な方々にご覧いただけるようご協力ください。
滋賀県警察本部交通企画課 高齢者交通安全推進室 ふれあいチーム
TEL 077-522-1231（代表） Eメール x0022@police.pref.shiga.jp

令和2年度使用

滋賀県交通安全スローガン募集

≪募集期間≫ 令和元年9月2日(月)～10月31日(木)

交通事故のない安全で住みよい湖国滋賀を築くため、交通安全キャンペーン等に使用する「交通安全スローガン」を広く県民の皆様から募集し、交通安全意識の高揚を図ります。

○募集テーマ

- ① 交通安全部門 県民みんなで交通安全をすすめる雰囲気があるもの、滋賀県らしい特徴があるもの
- ② 自転車条例部門 「滋賀県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の内容を広く訴えるもの

○応募資格

滋賀県に在住もしくは勤務・通学している方
(作品は、自作・未発表のものに限ります)

○応募方法

ハガキ、封書、ファクシミリおよびメールでの応募を受け付けています。下記の事項を明記してください。(個人情報については、目的以外に使用しません)

☑ 応募部門、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号

○審査

審査は、滋賀県交通対策協議会において行い、優秀作品を決定します。

○入賞発表

令和元年度末までに直接入賞者に通知し、入賞作品は令和2年度に展開する交通安全県民総ぐるみ運動の行事等に広く使用します。入賞作品の著作権は、主催者に帰属します。

○応募先(主催者)

〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号

滋賀県庁交通戦略課内 滋賀県交通対策協議会事務局

電話 077-528-3682 FAX077-528-4837

E-mail : hc0001@pref.shiga.lg.jp

[応募用紙例] 個人用

作品 どちらかに、○をお願いします。①交通安全部門 ②自転車条例部門

郵便番号 —

住所

(電話番号)

氏名

(年齢 歳)

安全ニュース

第 211 号 (2019年7月)

発行責任者 安全委員長 高橋 貞夫

公益社団法人 彦根市シルバー人材センター

安全・適正就業強化月間

全国統一スローガン

事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな

「安全週間を迎えて」

安全委員長 高橋 貞夫

今年も恒例となっている全国安全週間が、7月1日から7月7日の期間で行われます。

昭和3年に実施されてから今年で92回目になるようで、一度も中断することなく続けられていることに「継続の力」を感じます。

何故7月に実施されるかは、12月に次いで事故の多い月とされています。

暑さが最高潮になり、熱中症の他、体調を壊す人が多くなり、事故の発生する要因が増加するので、嚴重注意が必要です。

今年の「全国安全週間」スローガンである、

「新たな時代に PDCA みんなで築こう ゼロ災職場」

の下で取り組み、災害をしない、おこさないを、この機会に一人ひとり決意しましょう。

事故の型別では、「転倒」や熱中症関連が増加しているようです。

我々シルバー世帯関連で、労災による死傷者のうち「60歳以上」の割合が、昨年初めて1/4を超えたということです。

若い世代が敬遠しがちな清掃業に、高齢者の働き手が集中して、転倒で負傷する構図が生じているとのこと。

このことは実感でき、自主的に4S（整理整頓、清掃清潔）、KY（危険予知）、ヒヤリハットの日常的な安全活動が重要です。

安全週間の機会に、シルバー会員の安全への再確認を呼びかけます。ご安全に。

7月は シルバー人材センター 【安全・適正就業強化月間】です。

シルバー人材センターでは、「全国安全週間」に合わせ、7月を「安全・適正就業強化月間」と定めています。

当センターでは、安全委員による安全パトロールを実施するほか、下記のとおり、安全標語を募集いたします。

安全標語を募集します！《就業安全・交通安全》

前年度の事故発生は、残念ながら傷害事故2件、賠償事故5件の合計7件の結果となり、年々悪化傾向にあります。

今年度は傷害事故、賠償事故共にゼロを目指しています。

安全就業が会員の合言葉となりますよう、安全意識の高揚に努力致したく存じます。今まで応募されたことのない会員の皆様、ぜひご応募をお願いします。

《募集要領》

- 募集期間 令和元年7月1日～7月31日
- 応募点数 1人3点まで
- 申込方法

任意の用紙に会員番号、会員名、標語、内容(標語の意図など)を記入して事務局へ提出してください。

■審査と表彰

- ・応募作品の中から最優秀作品1点、優秀作品2点、入賞7点を安全委員会で選考します。
- ・入選作品は令和2年のカレンダーに掲載するとともに、事務所に掲示します。
- ・入選作品の応募者には、安全大会において賞状と副賞をお贈りし、表彰します。



公益社団法人 彦根市シルバー人材センター 安全委員会

会員互助会から お知らせ

歩こう会

令和元年7月

7月は、ヤマトタケルノミコトの熱を醒ました、伝説の湧水「居醒の清水(いさめのしみず)」がある清流の里、醒ヶ井を訪れます。

清流を源流とする地蔵川に、梅の花そっくりな水中花「梅花藻」が涼しげに揺らいでいます。梅花藻は、年間の水温14度前後の清流にしか生息しません。



また、絶滅危惧種の「ハリヨ」の産卵場所にもなります。

梅花藻の見ごろは、7～8月、「癒しの水空間」をゆっくり散策しましょう。

実施日 **令和元年7月19日(金)** [小雨でも行きます]

※ 昼食の予約のため、参加締切は、7月12日です。

申込み 090-3488-3150 外村辰雄 090-1635-2257 中村加代子 まで

費用 集金1,600円

《JR往復は、各自購入。昼食代 約1,400円、傷害保険・写真代 200円》

昼食 弁当不要。本陣樋口山で「せせらぎ御膳」をいただきます(椅子席)。

集合場所および時間 **JR彦根駅改札口 9:40** (先頭車両から2両目に乗車ください)



南彦根駅 9:53 → 彦根駅 9:56 → 米原駅 10:01 (乗り換え) 10:30

→ 醒ヶ井駅着 10:36

(駅トイレ、洋式なし) 出発 → 旧醒ヶ井郵便局(休憩、トイレ洋式あり)

→ 了徳寺(樹齢200年の天然記念物オハツキイチョウの大木、休憩)

→ 居醒の清水 → 賀茂神社 → 昼食場所へ(昼食11:30～12:30)

昼食後、散策しながら駅へ 13:30 → 道の駅(約30分)



醒ヶ井駅発 14:11 → 米原駅 14:17 (乗り換え) 14:29 → 彦根駅 14:35

(早いのに乗れば13:41 →)

→ 南彦根駅 14:38

歩行距離 約2.5km

*8月は、休みます。9月は、京都平等院に行きます。

熱中症予防のために

暑さを避ける

室内では・・・

- ▶ 扇風機やエアコンで温度を調節
- ▶ 遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用
- ▶ 室温をこまめに確認
- ▶ WBGT値※も参考に

外出時には・・・

- ▶ 日傘や帽子の着用
- ▶ 日陰の利用、こまめな休憩
- ▶ 天気の良い日は、日中の外出をできるだけ控える

からだの蓄熱を避けるために

- ▶ 通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用する
- ▶ 保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす

※WBGT値：気温、湿度、輻射（放射）熱から算出される暑さの指数
運動や作業の度合いに応じた基準値が定められています。
環境省のホームページ（熱中症予防情報サイト）に、観測値と予想値が掲載されています。

こまめに水分を補給する

室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分を補給しましょう。大量に発汗する状況では、経口補水液※など、塩分等も含んで補給しましょう。

※ 水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの

「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内でも何もしないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。

熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。



熱中症の症状

- めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、気分が悪い
 - 頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感、いつもと様子が違う
- 重症になると、
- 返事がおかしい、意識消失、けいれん、からだが熱い

熱中症が疑われる人を見かけたら

涼しい場所へ

エアコンが効いている室内や風通しのよい日陰など、涼しい場所へ避難させる

からだを冷やす

衣服をゆるめ、からだを冷やす

（特に、首の回り、脇の下、足の付け根など）

水分補給

水分・塩分、経口補水液※などを補給する

※ 水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの



自力で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を呼びましょう！

<ご注意>

暑さの感じ方は、人によって異なります

その日の体調や暑さに対する慣れなどが影響します。体調の変化に気をつけましょう。

高齢者や子ども、障害者・障害児は、特に注意が必要です

- 熱中症患者のおよそ半数は65歳以上の高齢者です。高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、暑さに対するからだの調整機能も低下しているため、注意が必要です。
- 子どもは体温の調節能力がまだ十分に発達していないので、気を配る必要があります。
- のどの渇きを感じていなくても、こまめに水分補給しましょう。暑さを感じなくても室温や外気温を測定し、扇風機やエアコンを使って温度調整するよう心がけましょう。

節電を意識するあまり、熱中症予防を忘れないようご注意ください

気温や湿度の高い日には、無理な節電はせず、適度に扇風機やエアコンを使いましょう。

詳しくは、厚生労働省ホームページ「熱中症関連情報」をご覧ください。

厚生労働省 熱中症

検索

